

IMV株式会社

振動試験装置をコアに「モノ売り」から「ベストパートナー」へ進化



取締役 営業本部長
溝本 秀樹氏



- ・「不変の使命(社会の安全・安心)」と「絶え間ない変革と挑戦」の両立
- ・堅実な経営基盤と“グローバルニッチトップ企業”として技術を磨き続ける探究心

IMV株式会社は1957年に株式会社国際機械振動研究所として設立され、2027年に創業70周年を迎える。長い歴史のなかで振動問題のソリューションパートナーとしてモノづくりを支えてきた同社だが、その歩みは保守ではなく、「変えるべきところは変える」姿勢で進化を続けてきた。

1974年の会社更生法申請という危機を乗り越え、現取締役会長・小嶋成夫のもとで再建。その後も経営基盤を強化し、海外拠点の設立や事業拡大を進め、現在では振動試験装置・受託試験・計測装置の三事業を展開する振動試験装置のリーディングカンパニーとして成長している。

唯一無二の研究開発型企業として 圧倒的な市場シェアを獲得

IMVは、振動試験に必要な三つのコア技術 — 振動発生装置・制御器・電力増幅器 — をすべて、創業当時から自社で開発している世界唯一のメーカーである。この総合技術力によって、国内はもちろん海外でもトップシェアを獲得している



振動試験装置

GNT(グローバルニッチトップ)企業である(2025年9月自社調べ)。加えて、過去10年赤字決算がない堅実な経営基盤により、最新設備への投資や装置の高性能化、新領域の試験対応など、“攻めの研究開発”を続けられる体制が整っている。

モノ売りからの脱却。 その先の“プロフェッショナル集団”へ

前中期経営計画のテーマであった「モノ売りからの脱却」は、単に装置販売以外の収益源を増やすという意味ではない。IMVが目指したのは「顧客の開発プロセスそのものに入り込み、試験・評価・計測の全体像に責任を持つ企業」への転換だった。従来は“装置の性能を提供する”ことが主だったが、現在は「どの試験を設計すべきか」「結果をどう解釈し次に活かすか」「データをどう活用し品質評価を高めるか」といった、より上流の工程にまで提供範囲が広がっている。この変革の延長線にあるのが、現中期経営計画が掲げる「プロフェッショナル人材が集い、挑戦し続ける企業」というビジョンである。ここでいうプロフェッショナルとは、単に専門性が高いだけでなく、顧客の開発を“止めない”ために、判断力と伴走力を備えた人材を指す。IMVが提供する価値が「製品」から「開発パートナー」へ変わったことで、人材に求められる役割も大きく変化した。この方向性は、すでに事業にも成果として現れており、顧客の研究開発体制に深く入り込むプロジェクトが増えている。



関西万博にも設置された地震計

IMVの進化の原動力は、「社員の挑戦」

IMVが“ただの装置メーカー”にとどまらず、お客様からベストパートナーとして選ばれている理由は、技術力だけではない。同社が最も大切にしているのは人材の可能性である。IMVには、若手のうちから裁量を持ち、課題発見・提案・実行まで挑戦できる環境が整っており、職種を越えてプロジェクトを立ち上げられる風土がある。なかでも象徴的なのが「社内チャレンジ制度」だ。入社年次を問わず企画を応募でき、採択されると自社株数百株の報酬が付与される。“挑戦そのものが会社の未来をつくる”という文化が根づいている。そして重要なのは、この制度から生まれた提案が、実際に事業へ育っていること。いずれも、トップダウ

経営理念

〈企業理念〉

Secure the Future ～未来の安全・安心のために～

IMVは、事業を通じて世界の安全・安心に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献します。
IMVで働く人々は、すべての業務が世界の安全・安心に繋がることを常に意識し、またそれを誇りに思います。

会社DATA

創 業：1957(昭和32)年4月17日
所 在 地：大阪市西淀川区竹島2丁目6番地10号
資 本 金：4億6,481万円(東証スタンダード上場)
従 業 員 数：471名(2025年9月30日現在、連結)
事 業 内 容：振動試験装置：振動試験装置、複合環境試験装置、信号処理・機械制御システムに関するソフトウェアおよび同関連機器の開発、製造、販売、修理・保守サービス
テスト&ソリューションサービス：振動(環境)試験を中心とした試験の受託、計測解析サービスの提供およびその他のコンサルティング業務
メジャリングシステム：地震監視装置、振動計測装置、振動監視装置、環境信頼性評価システムおよび同関連機器の開発、製造、販売、修理・保守サービス
U R L：https://we-are-imv.com/



大阪梅田駅に掲出されたIMVと進撃の巨人コラボ広告

ンではなく「現場からの発案」を社として受け止め、磨き上げ、事業として育てている。70年企業でありながらスタートアップのように“挑戦が文化として根付いている”。それがIMVの大きな特徴であり、長く続いてきた理由でもある。

70年企業としての使命。“変わらない軸”と “変わり続ける姿勢”

IMVの変わらない軸は「世界の安全・安心を守る」という使命である。一方で、同社は過去の成功にとどまらず、新しい領域に挑戦し続ける70年企業でもある。社員の挑戦が事業を生み、その成長が次の挑戦を育む。この循環こそがIMVの強さであり、今後も変革と挑戦を追求し続けていく。